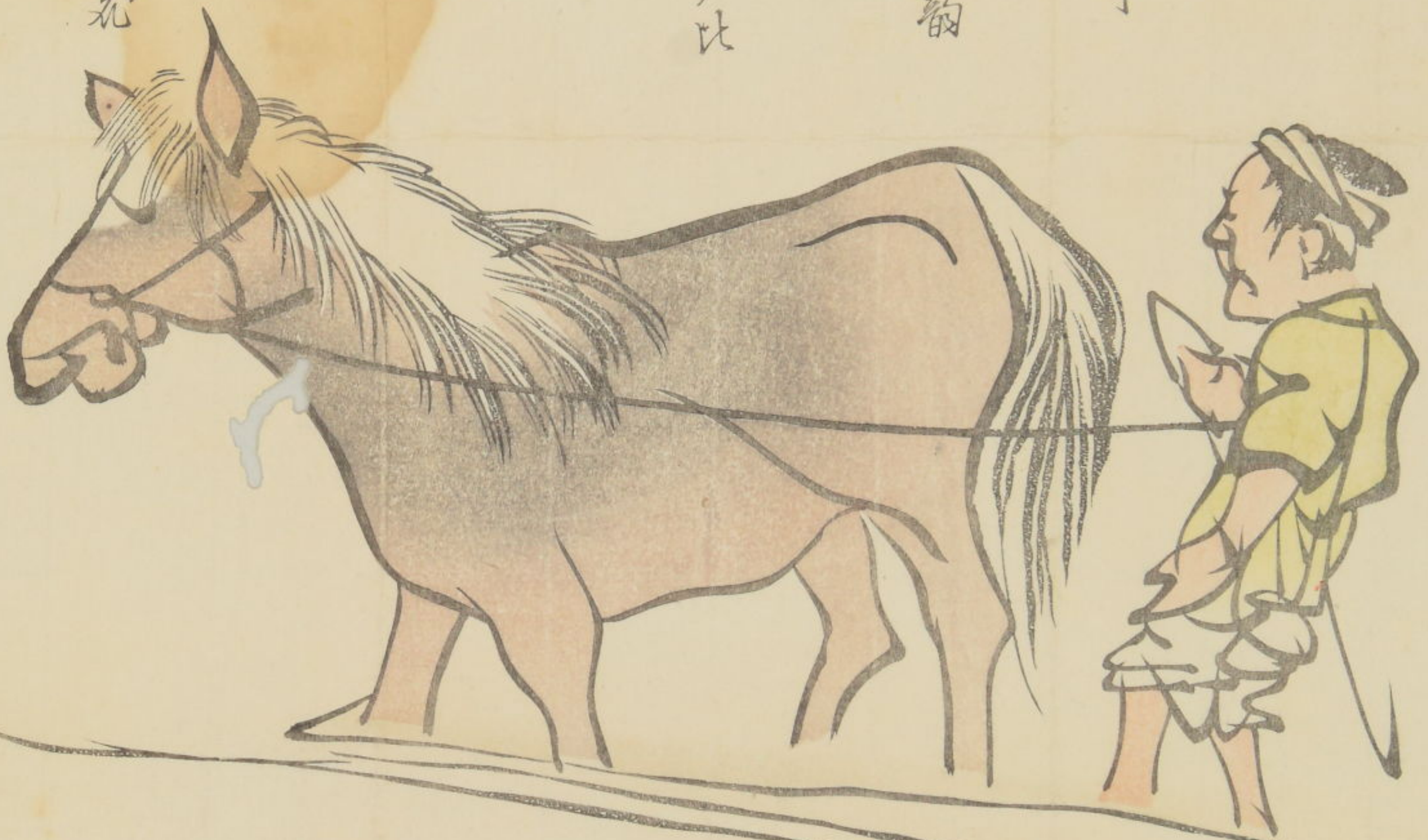


権齋寫



あまのうそ七瀬の 五峰

掌書并乃

序指の

乙韻

藤にむくも枕かきくそ

重島舟

序く花あや

乙比

情然る庵ハ

陰よりあま王

乙塙

志峰の硯

出とく

あま毛 松種

世千あまを留る毛

涉香乃

田あし

曉花

小松八子の日笠乃をみたひらう六
西の光うを此

象窟のあけの巻の毛の

せんくう

あま毛

梅柳

古松

鴉音

修保娘千邊うあまうな利扇折 且

桐の芽枝連く一紫の秋子似は 童令

拾ひ子や昔の花枝夕くを利 乙二

